

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 真岡田町教室

保護者等数(児童数) 27 回収数 19 割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	5	1	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3		3	長期休みの利用が出来るように、職員の人数を増やしてほしい。	受け入れの人数が決まっているので、難しい面がある。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3		6		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17			1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	2				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	11	学校があるため、不要である。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1			本人の気持ちが落ち着かない時に、きちんと話をして対応してくれていると思う。	今後も個々に応じた対応をしていけるよう配慮していく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	9	4	親子で参加出来るようなイベントを土曜日に開催してくれると楽しそう。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	1				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	5	1	3		
	14 個人情報に十分注意しているか	18	1				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1	3	7		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2		10		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	1			土曜は平日とは違った過ごし方が出来喜んでいる。	今後も子供たちが楽しめる催し物を考案していきたいと思う。
	18 事業所の支援に満足しているか	19				・いつも公園等に連れて行ってくれ感謝している。 ・室内外、様々な環境の中で友達との関わり方をサポートしてくれ満足している。	

241 35 16 47

71%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月20日

事業所名 こぱんはうすさくら 真岡田町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	部屋が二つに分かれているため、その日の利用児の状況により、使い分けている。	構造上、死角になってしまう場所があるため、職員を必ず配置するようにしている。
	2 職員の配置数は適切である	7		利用児童の人数だけではなく、その日の活動内容に合わせて職員の人数を配置している。	安心安全にお預かりが出来るように、今後も継続していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5	常に設備等の安全確認は行っている。段差はあるが、利用児童が安全に過ごせるようにその都度声掛けをしている。	段差は構造上取り除くことは難しいため、その都度声掛け等をして支援する。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	月1回の会議の際に職員で話し合いをする場を設けている。	会議だけではなく、定期的に話し合いの場を設けるようにしていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	アンケート結果を職員で共有し、今後の支援につなげるようにしている。	今後もいい支援が提供できるように、改善点を職員で話し合い支援に繋げる。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	4	ホームページに掲載している。	今後もホームページに掲載していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		今後必要があれば、外部評価を取り入れていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	定期的に研修には参加しており、研修後に会議等で報告をしている。また、参加したい研修があった際には参加出来るようにしている。	今後も研修に参加した際には報告をし、今後の支援に繋げていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		利用児童の現状と保護者様のご希望をお聞きし、計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		今後も使用していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		今後も継続していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			今後も継続していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	保護者様のご希望に応じて、事業所で用意したプリントに取り組んでいる。	きめ細やかには出来ると言えないため、今後はきめ細やかに設定出来るように努力する。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			今後も継続していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	一日の流れを打ち合わせで決めており、午後から出勤した職員がわかるように連絡ファイルを使用している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	6		支援終了後に振り返りをするのが難しい。(シフトの勤務時間上)そのため、連絡ファイルを活用し、次に日には振り返りが出来るようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2		記録はしているが、検証・改善までは出来ていない所もあるため、出来るようにしていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		児童発達管理支援責任者のみの判断ではなく、職員からの話も聞きながら判断している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7			今後も継続していく。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	3	・毎月下校時刻表を学校からいただいている。又、利用児童の利用予定表をお渡ししている。 ・送迎に関しては、初めてご利用になるまえに送迎時の対応を各学校に確認している。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1		お預かり出来る環境がないため、今後お預かりになる際には環境を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	相談支援専門員と情報を共有し、その都度対応していただいている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2			まだ事例は無いが、今後卒園児が出た際には、情報共有等していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			今後も継続していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		今後ご希望があった際には検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		必要に応じて参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時に細かくその日の状況を伝えたり、必要に応じて管理者から保護者にご連絡している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3		今後必要に応じて支援を行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約の際に細かくご説明させていただいている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		ご相談があった際には、その都度対応させていただいている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		今後必要に応じて支援を行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情があった際には迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	5	インスタグラムを活用し、発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		今後必要に応じて図っていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		職員が常に目を通せる場所にマニュアルは置いてある。保護者様には必要に応じてお伝えしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	避難訓練を年2回行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			今後も継続して支援していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		現在は医師の指示書が必要な利用児がいないため、行っていない。今後必要に応じて対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	会議等で今後の対応等話し合いをしている。	